



人類の味方

世界における地球外生命体の存在についての緊急のメッセージ

マーシャル・ヴィアン・サマーズ

人類の味方のブリーフィングの**12**ポイント要約

書籍 **1, 2, 3, 4**

人類の味方のメッセージとブリーフィングを他の人にやりやすく共有できるように、4セットのブリーフィングの12項目の要約を掲載します。ただしご注意いただきたいのは、この要約はあくまで全体像を示すものであり、人類の味方によるブリーフィングの内容を完全に理解するために不可欠な多くの重要な詳細は含まれていないという点です。

www.AlliesofHumanity.org/ja にアクセスして、他の人と共有するためのダウンロード版を入手してください。

1. 人類の運命は、宇宙に存在する知的生命体の大いなる共同体に入り、それと関わりを持つことです。
2. 他の知的生命体との接触（コンタクト）は、人類がこれまでに直面した最大の閾値です。この接触の結果が、今後何世代にもわたる人類の未来を決定するのです。この接触は、今まさに起こりつつあるのです。
3. 人類はコンタクトに対して何の準備もしていません。研究者たちは、誰がなぜこの世界を訪れているのか、まだ明確に知ることができません。政府は自分たちが知っていることを明らかにせず、ほとんどの人はこの現象が起こっていることさえ否定しています。
4. 認識と準備不足のため、人類の真の味方が、私たちの世界で地球外生命体の存在の活動を観察するために、地球近傍の場所に代表者を派遣しました。「人類の味方のブリーフィング」とは、その状況報告書です。
5. 人類の味方のブリーフィングは、私たちの世界が地球外からの介入を受けていることを明らかにしています。介入者の行動によって示されるように、彼らは人間の権威を破壊し、自分たちの利益のために人間社会に溶け込むためにここに来ています。これらの勢力は非軍事組織であり、人類と生物学的資源を求めに来ているのです。人類の味方はこれらの勢力を「集団」と呼んでいます。集団は人間の自由を尊重しません。
6. 介入は少人数の介入部隊によって行われているので、その目的を達成するためには、主に欺瞞と説得に頼らざるを得ません。人類の味方のブリーフィングは、これがどのように行われ、それを阻止するために私たちが何をすべきかを詳細に説明しています。
7. この地球外からの介入は、4つの分野に集中しています：
 - 政府、商業、宗教において権力や権威を持つ特定の個人に対し、より大きな富、権力、技術を約束することで介入に協力するよう影響を及ぼしています。
 - 介入が精神的環境に影響を及ぼすことができる隠れ家を世界に作り、「宣撫工作プログラム」を通じて、あらゆる場所の人々を開放し、その意志に従わせようとしています。

- 宗教的な価値観や精神的な衝動を操作して、人間の忠誠心を得ようとしています。

- 介入は、人々の意思に反して行われ、多くの場合は本人たちが意識なしに誘拐されています。これは異星人とのハイブリッド種族を作り出す交配プログラムを確立し、維持するためです。このハイブリッド種族から、介入に忠誠を誓った新しい人間の指導者たちが、人類を支配するために利用されます。

8. 人類にとって有益となりうる介入者に関係がなかった異星人は、皆すでに世界から撤退しています。したがって、私たちの世界に残っているのは、人類の利益のためにここにいるわけではない異星人だけです。このため、私たちは地球外生命体の意図と活動を明確に把握できる状況にあります。これによって、私たちは自分たちが何を相手にしているのかを明確に理解することができます。そうでなければ、敵味方の区別がつかないのです。
9. 人類の味方のブリーフィングは、介入によって提供される地球外技術を受け入れ、それに依存するようになることの重大な危険性を強調しています。これは、私たちが介入に依存するようになり、自由と自給自足が失われることになるだけです。人類の真の味方は、このようなことを私たちに申し出ることはありません。人類の味方は、私たちが直面しているすべての問題に対して、地球由来の解決策を持っていることを強調しています。私たち人類に欠けているのは、団結、意志、協力です。
10. 今、私たちが直面している大きな課題にもかかわらず、時間内に対応できれば、人類はまだ大きな優位性を持っているのです。人類の味方のブリーフィングは、介入の長所と短所の両方を明らかにしています。介入の弱点の一つは、その目的を達成するために人間の黙認と協力に依存することです。この世界が存在する宇宙空間における大いなる共同体の行動規範によれば、先住民が介入を歓迎し、承認していることが証明されない限り、介入は許可されません。したがって、私たちの声は大いなる共同体の中で力を持つことができます。今のところ、介入に批判的な人はほとんどいません。しかし、もし多くの人々が介入を気づき、反対の声を上げることができれば、介入は阻止され、撤退せざるを得なくなるでしょう。これは、人類が宇宙の生命の現実に対処するための準備の第一段階です。このステップとそれに続くすべてのステップは、人類が長年の対立を克服し、世界の保存と自らの防衛のために団結する、たった一つの大きなチャンスを与えるものです。人類の味方は、私たち人類にはこれを実行する精神的・集団的な力があり、宇宙の中で自由に独立した種族として生き残り、発展していくためには、これを実行しなければならないことを強調しています。
11. 大いなる共同体との接触のための準備は、意識、教育、そして私たちの「知」と呼ばれる霊的な心から始まります。
12. 大いなる共同体に立ち向かうために、人類は「団結」「自給自足」「慎重さ」を築かなければなりません。これらは、すべての自由な国家が、宇宙で自由であるために確立しなければならない3つの要件です。

「もし人類が大いなる共同体に精通していたら、
地球外からの訪問を必ず抵抗するでしょう。
もし事前に相互の合意が成立していなかったなら、
人類は確実に面会を拒否するでしょう。
それほどまでに自らの世界を脆弱にすることは許さないでしょう。」

人類の味方:書籍1、第三報告

www.AlliesofHumanity.org/ja